

〈研究室近況〉

昭和59年度非常勤講師として、以下の先生方をお願いした。

高木郁朗（経済原論・社会政策）・時子山ひろみ（国民所得論）・山本鎮雄（社会学概論）・中野卓（社会構造論）・石川念（法学）・工藤添吉（日本近・現代経済史）・塚塚登（社会思想史）・中林賢二郎（社会運動史）・広田寿子（社会問題Ⅱ女子労働論）・久保まち子（社会保障）・平石長久（国際社会保障）・寺脇隆夫（福祉財政）・本間道子（社会心理学）・藤森岳夫（社会医学）・平井富雄（精神衛生）・高月東一（社会調査）・大川嗣雄（リハビリテーション論）・吉沢英子（養護理論）・江幡玲子（非行問題）・村山祐一（保育問題）・高木鉦作（地方自治論）・牧野田恵美子（サイキアトリック・ソーシャルワーク）〈順不同〉

4月1日、中川清助教授、中村律子助手、就任。

4月6日、入学式、新入生86名。

4月21日～22日、八王子オリエンテーションセミナー開催。新入生および研究室スタッフ全員が出席。

4月26日～5月12日、田端光美教授、International Seminar for community Care 参加のため、イギリスに出張。

6月2日～6月11日、小島蓉子教授、第15回リハビリテーション世界会議にて論文発表のため、ポルトガルに出張。

7月29日～8月7日、小島蓉子教授、第22回国際社会事業学校連盟会議出席のため、カナダに出張。

8月19日～10月10日、一番ヶ瀬康子教授「在宅福祉における日端比較」研究のため、スウェーデンに出張。

9月14日～9月26日、佐藤進教授、国際社会保障労働法学会、第1回ヨーロッパ会議出席のため、ハンガリー等に出張。

10月1日、米地実教授、国内研修（三重県伊勢市皇學館大学）

10月19日～20日、日本社会福祉学会第31回大会（於：駒沢大学）に佐藤進教授、一番ヶ瀬康子教授、小島蓉子教授、田端光美教授、大友昌子助手、西村みはる助手、中村律子助手、参加

11月、小島蓉子教授、日本社会事業学校連盟教育セミナーおよび、日本社会事業学校連盟昭和59年度総会（於：大阪）に出席。

昭和60年1月9日、4年生卒業論文提出（35回生 93名）

3月20日、35回生 92名卒業。

3月21日～4月6日、田端光美教授、老人の在宅福祉システム調査のため、イギリスに出張。

3月31日、大友昌子助手、退職。